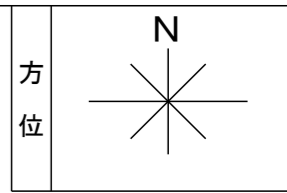


一般用給水工事 <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号 ㉑
		指定業者 ㉒ 上水道設備株
水栓 共用管 番号 ㉓ 12345	主任技術者 ㉔ 上水道 太郎	工事場所 ㉕ 和泉市〇〇町五丁目4番11号
給水引込 縮尺 ㉖ 1:〇〇 図番 ㉗ 1/1		

管の色分け

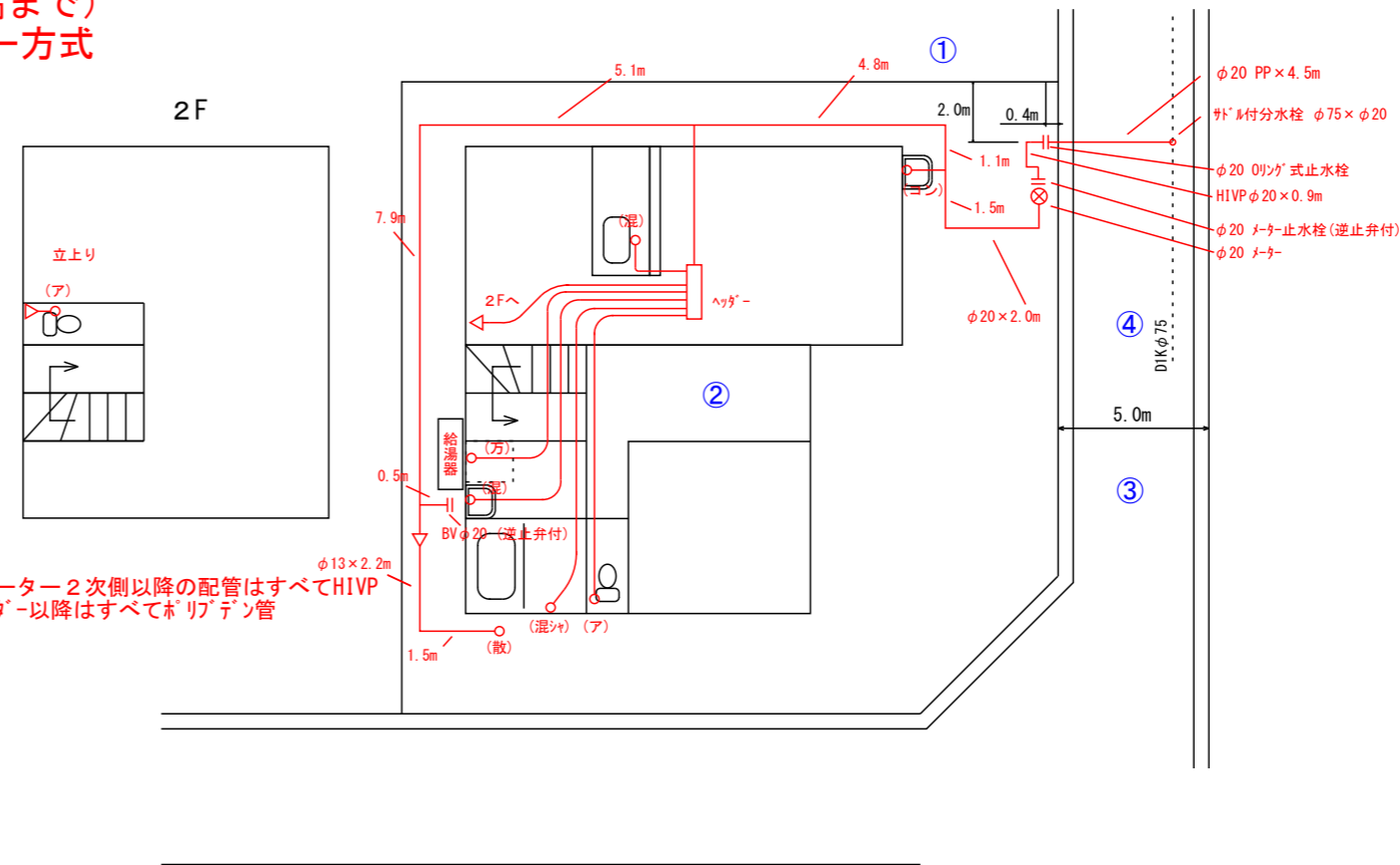
名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	———
既設給水管	黒(実線)	————
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	- - - -
貯水槽以下	緑	————



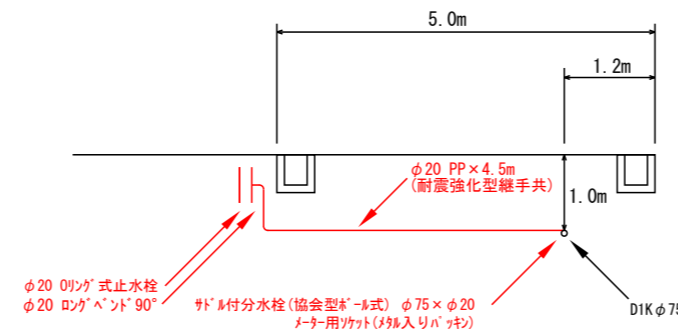
主要使用材料		
名称 ㉘	寸法	数量
サドル分水栓(協会型ボール式)	φ75×φ20	1
ポリエチレン二層管(耐震強化型継手共)	φ20	4.5
ロングベンド90°	φ20	1
Oリング止水栓	φ20	1
止水栓ボックス	H=400	1
HIVP(継手共)	φ20	一式
〃	φ13	一式
メーター用ソケット	φ20	1
メーターボックス	φ20	1
メーターボックス底板		1
メーター止水栓(逆止弁付)	φ20	1
メータージョイント	φ20	1
ライトエルボ	φ20	2
ポリブデン管	φ13	一式
ヘッダー		1
万能水栓	φ13	1
混合水栓	φ13	2
シャワー水栓	φ13	1
アングル型止水栓	φ13	2
BV(逆止弁付)	φ20	1
コン柱	φ13×900	1
明示ピン		1

(配水管分岐から給水装置末端まで)
さや管ヘッダー方式

- ㉑ 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉒ 縮尺を記入
- ㉓ 図面番号を記入(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉔ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉕ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ㉖ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉗ 工事場所の地名地番を記入
- ㉘ 使用材料を記入
メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要
配管の名称及び数量は例の通り記入



㉕



- ※ 記入漏れや間違いやすい項目
- ① 第一止水栓のオフセット
- ② 間取り(文字)を記入しない
- ③ 道路の記入(特に角地)
- ④ 配水本管の位置、管種管径
- ⑤ 給水の引込の場合は断面図記入
- ⑥ 立面図は記入不要

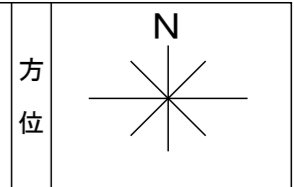
- ※ 止水栓ボックスの底板は、レンガ又はブロックを敷設すること。
- ※ 既設配水管が深い場合は、必要に応じて90°エルボ等の金属継手を使用し、立ち上げること。
- ※ 公道部分での給水管埋設深さは、管上で600mm(国道・府道は800mm)以上確保すること。ただし、道路管理者の指示がある場合は、それに従うこと。
- ※ ポリエチレン管に使用する金属継手はすべて耐震強化型(WSA B 011 適合品)とすること。
- ※ 引込管は本管及び接する道路に対して垂直に布設すること。
- ※ 第一止水栓からメーターまでの距離は1m以内にとすること。

一般用給水工事（臨時用給水からの改造） <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号 ㉓
水栓 共用管 番号 ㉑	12345	指定業者 ㉔ 上水道設備株
給水引込		主任技術者 ㉕ 上水道 太郎
縮尺 ㉒ 1:〇〇	図番 ㉖ 1/1	工事場所 ㉗ 和泉市〇〇町五丁目4番11号

管の色分け

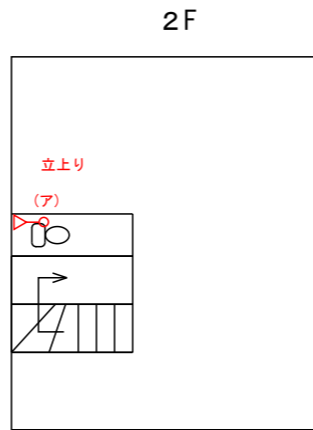
名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	———
既設給水管	黒(実線)	———
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	- - - - -
貯水槽以下	緑	———



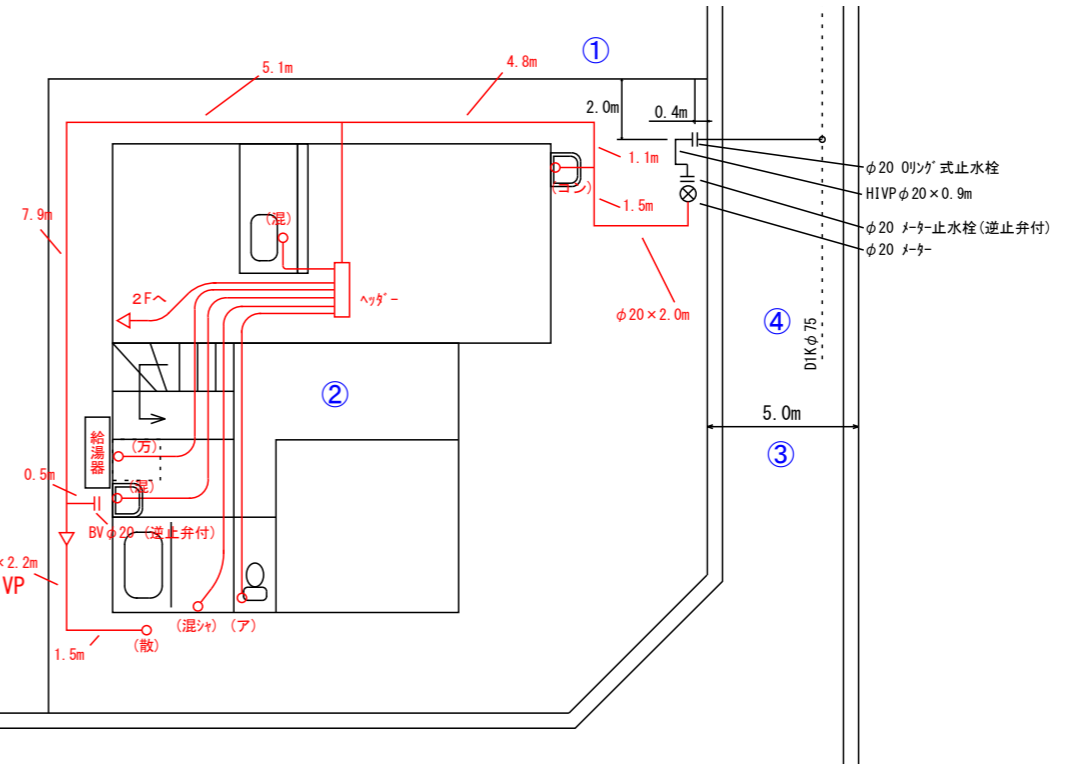
主要使用材料		
名称 ㉘	寸法	数量
HIVP(継手共)	φ20	一式
"	φ13	一式
ポリブデン管 ヘッダー	φ13	1
万能水栓	φ13	1
混合水栓	φ13	2
シャワー水栓	φ13	1
アングル型止水栓	φ13	2
BV(逆止弁付)	φ20	1
コン柱	φ13×900	1

(メーター2次側から給水装置末端まで)
さや管ヘッダー方式

- ㉑ 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉒ 縮尺を記入
- ㉖ 図面番号を記入
(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉓ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉔ 指定給水装置工事事業者名を記入
(代表者などは記入しないこと)
- ㉕ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉗ 工事場所の地名地番を記入
- ㉘ 使用材料を記入
メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要
配管の名称及び数量は例の通り記入



メーター2次側以降の配管はすべてHIVP
ヘッダー以降はすべてポリブデン管



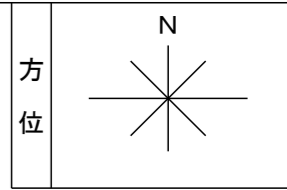
- ※ 記入漏れや間違いやすい項目
- ① 第一止水栓のオフセット
- ② 間取り(文字)を記入しない
- ③ 道路の記入(特に角地)
- ④ 配水本管の位置、管種管径
- ⑤ 立面図は記入不要

給水管引込工事 <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号 ㉓
水栓 共用管番号 ㉑ 9876		指定業者 ㉔ 上水道設備株
給水引込		主任技術者 ㉕ 上水道 太郎
縮尺 ㉒ 1:〇〇	図番 ㉖ 1/1	工事場所 ㉗ 和泉市〇〇町五丁目4番11号

管の色分け

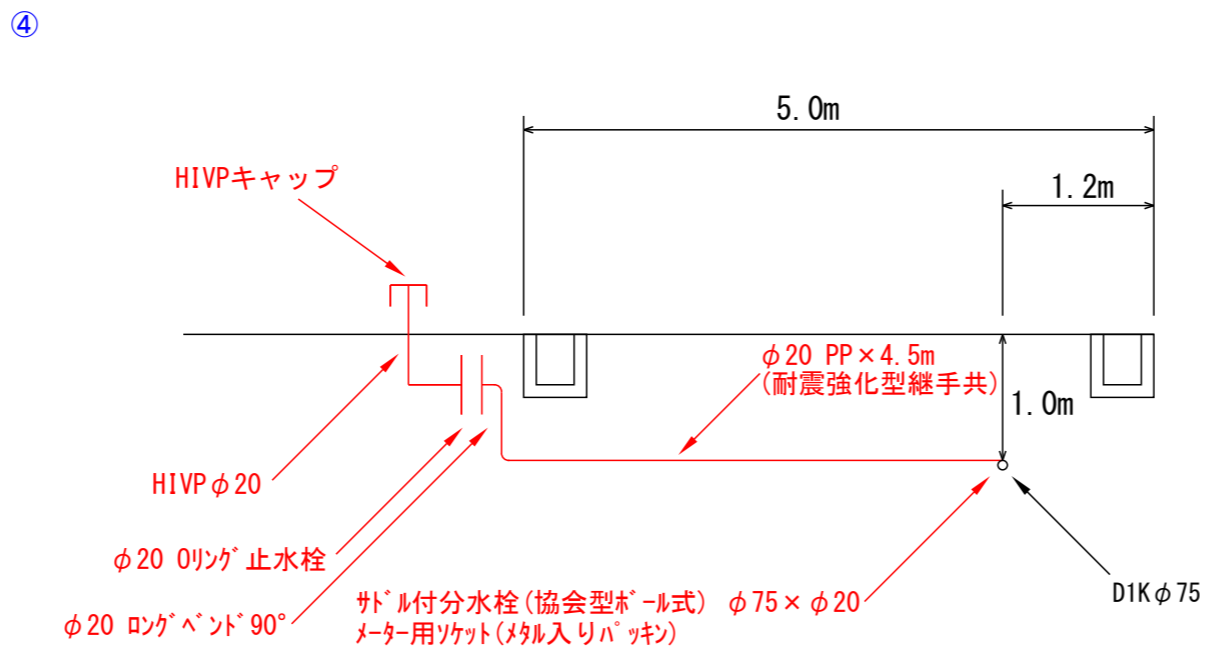
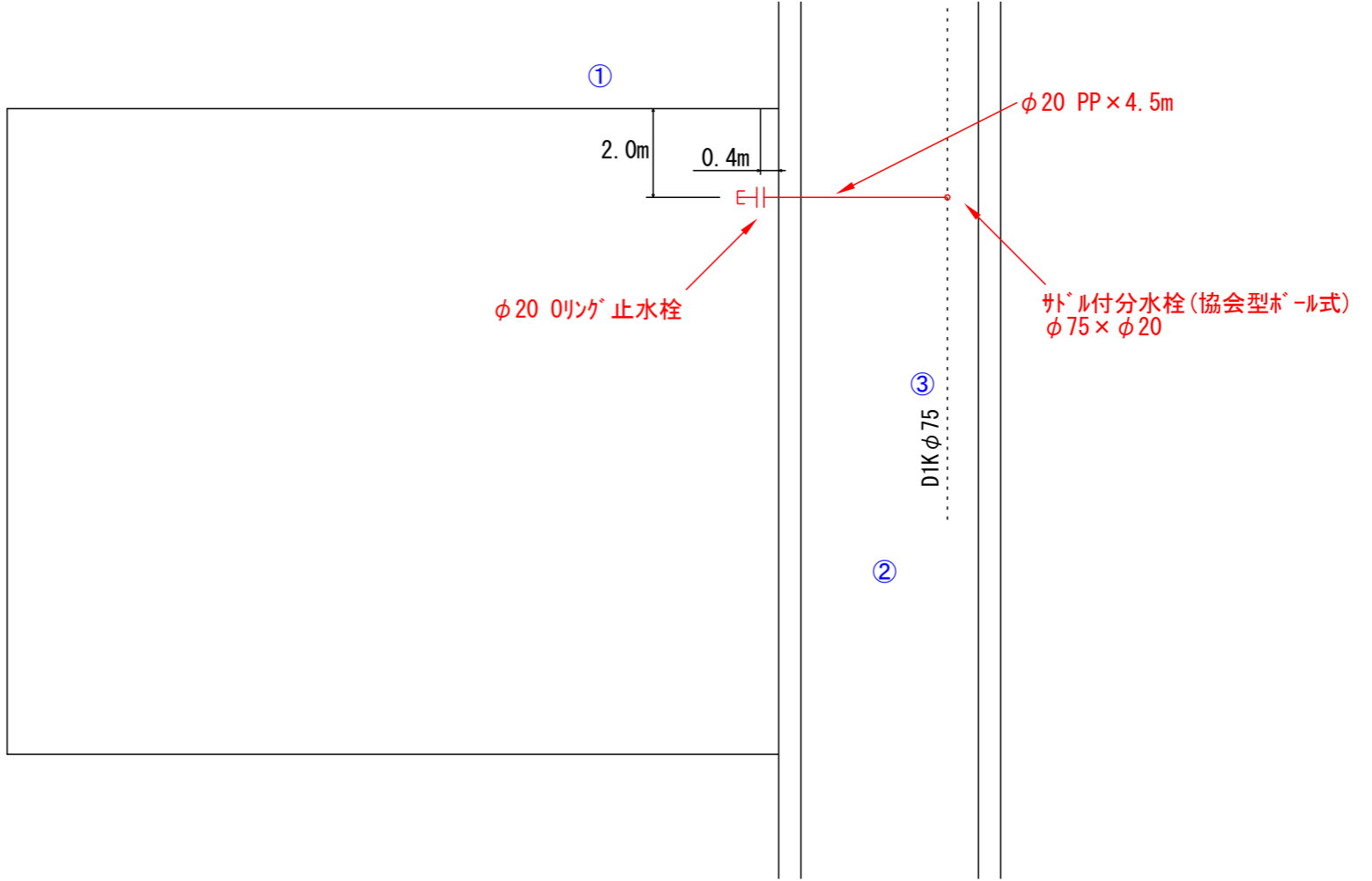
名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	———
既設給水管	黒(実線)	———
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	- - - -
貯水槽以下	緑	———



主要使用材料		
名称 ㉙	寸法	数量
サドル分水栓(協会型ボール式)	φ75×φ20	1
メーター用ソケット	φ20	1
ポリエチレン二層管(耐震強化型継手共)	φ20	4.5
ロングバンド90°	φ20	1
Oリング止水栓	φ20	1
止水栓ボックス	H=400	1
HIVP	φ20	0.5
HIVPエルボ	φ20	1
HIVPキャップ	φ20	1
明示杭		1
明示ピン		1

(配水管分岐から第一止水栓まで)

- ㉑ 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉒ 縮尺を記入
- ㉖ 図面番号を記入(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉓ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉔ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ㉕ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉗ 工事場所の地名地番を記入
- ㉙ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要。配管の名称及び数量は例の通り記入)



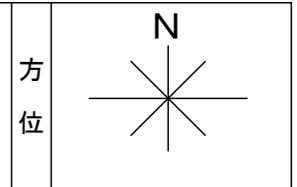
- ※ 記入漏れや間違いやすい項目
- ① 第一止水栓のオフセット
- ② 道路の記入(特に角地)
- ③ 配水本管の位置、管種管径
- ④ 給水の引込の場合は断面図記入

- ※ 止水栓ボックスの底板は、レンガ又はブロックを敷設すること。
- ※ 既設配水管が深い場合は、必要に応じて90°エルボ等の金属継手を使用し、立ち上げること。
- ※ 公道部分での給水管理設深さは、管上で600mm(国道・府道は800mm)以上確保すること。ただし、道路管理者の指示がある場合は、それに従うこと。
- ※ ポリエチレン管に使用する金属継手はすべて耐震強化型(WSA B 011 適合品)とすること。
- ※ 引込管は本管及び接する道路に対して垂直に布設すること。
- ※ 第一止水栓からメーターまでの距離は1m以内にとすること。

臨時用給水工事 〈記入例〉

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号 ㉑
		指定業者 ㉒ 上水道設備㈱
水栓 共用管番号 ㉓ 給水引込	㉔ 12345	主任技術者 ㉕ 上水道 太郎
	縮尺 ㉖ 1:〇〇 図番 ㉗ 1/1	工事場所 ㉘ 和泉市〇〇町五丁目4番11号

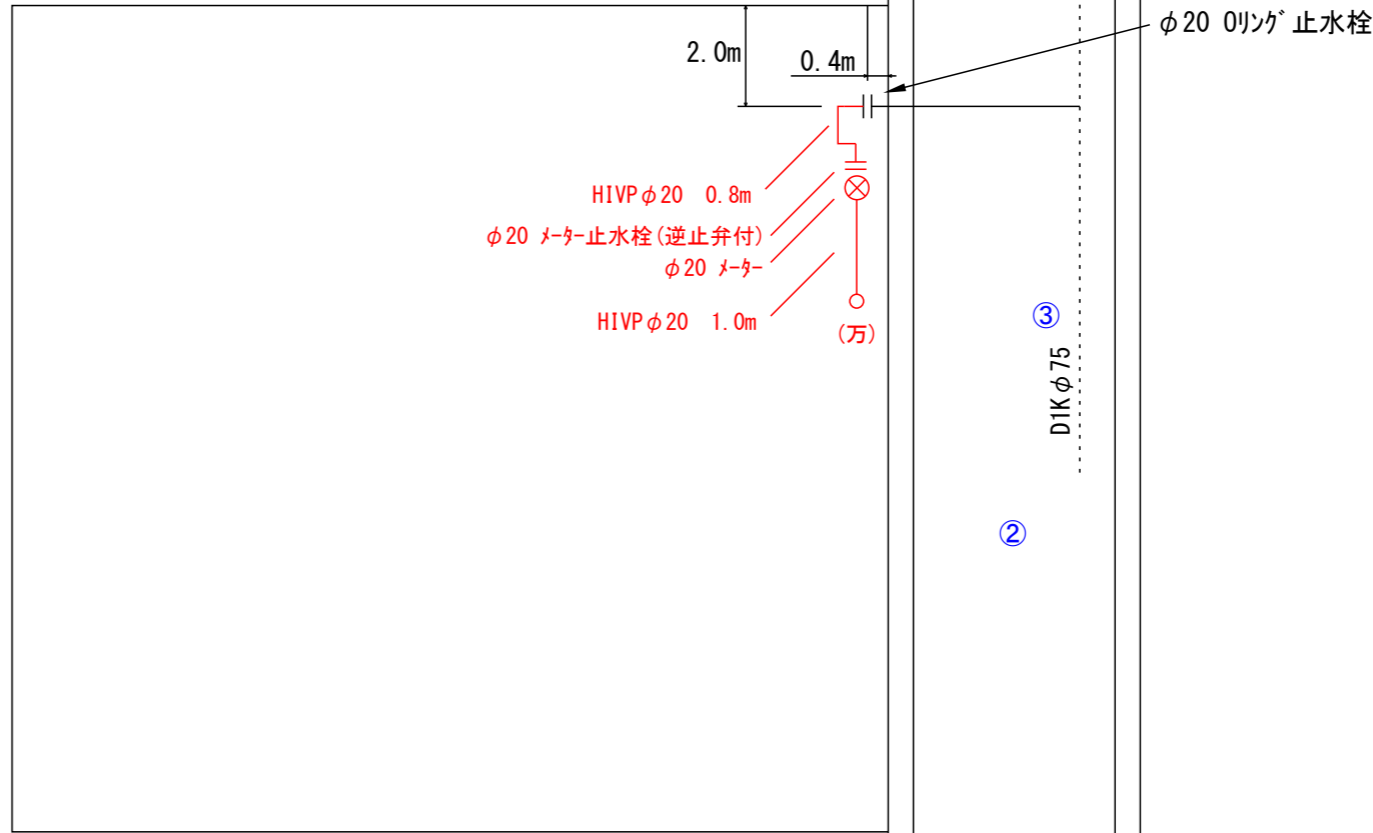
名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	—————
既設給水管	黒(実線)	—————
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	/////////
既設配水管	黒(破線)	- - - - -
貯水槽以下	緑	—————



主要使用材料		
名称 ㉙	寸法	数量
HIVP	φ20	1.8
メーターボックス	φ20	1
メーターボックス底板		1
メーター止水栓(逆止弁付)	φ20	1
メータージョイント	φ20	1
ライトエルボ	φ20	2
万能水栓	φ13	1

(第1止水栓から給水装置末端まで)

- ㉑** 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉖** 縮尺を記入
- ㉗** 図面番号を記入(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉒** 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉓** 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ㉕** 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉘** 工事場所の地名地番を記入
- ㉙** 使用材料を記入
メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要
配管の名称及び数量は例の通り記入



※ 記入漏れや間違いやすい項目
 ① 第一止水栓のオフセット
 ② 道路の記入(特に角地)
 ③ 配水本管の位置、管種管径

※ 臨時用の申請であってもライトエルボにて立上げ、立下げが必要です。

給水管引込工事（開発） <記入例>

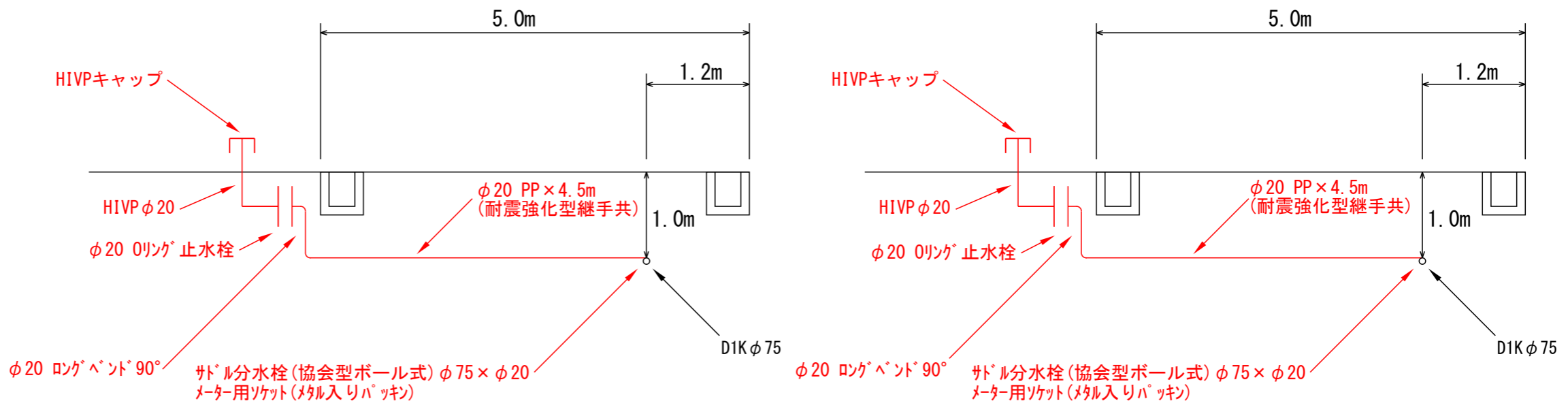
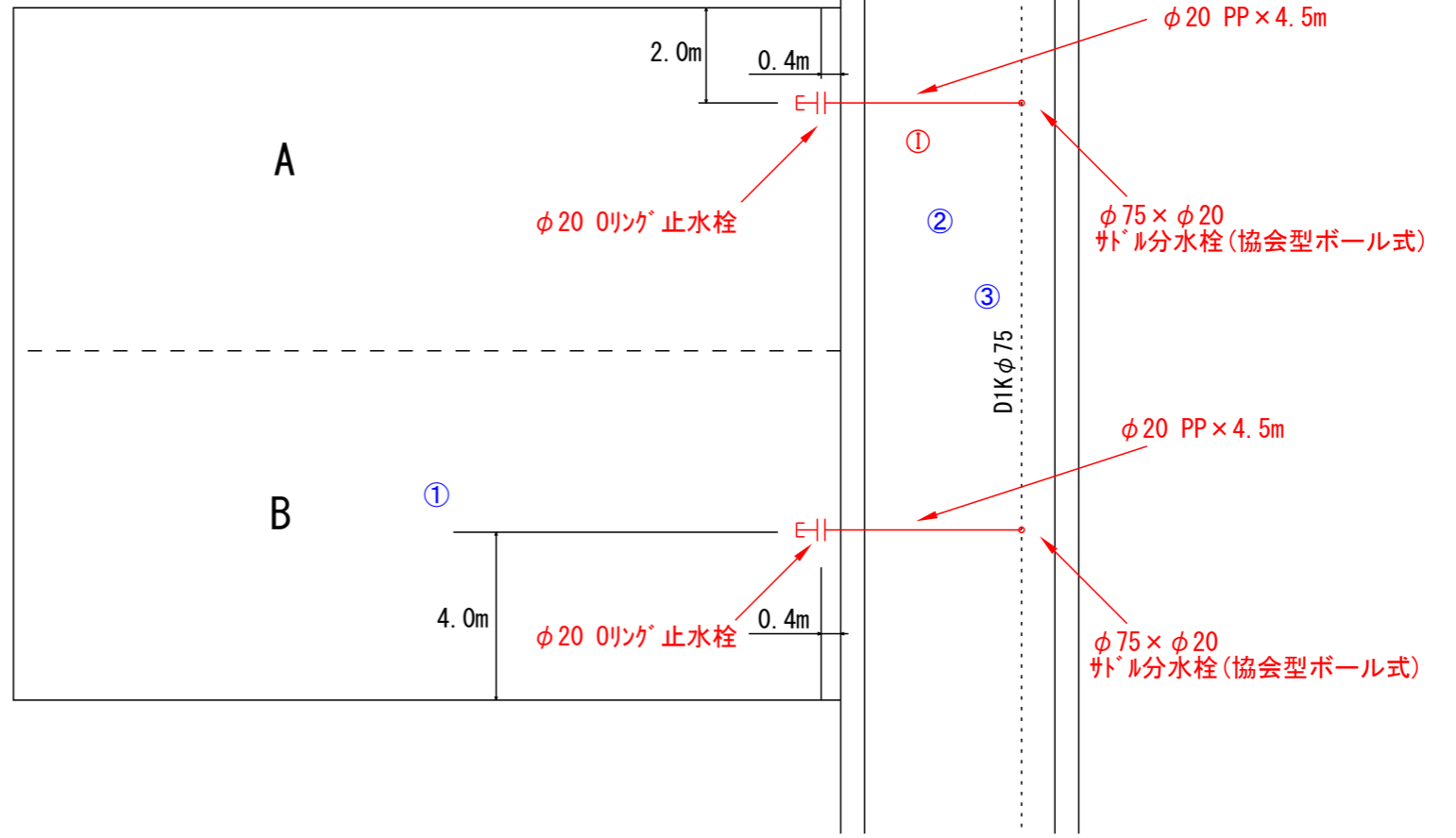
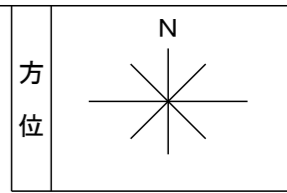
給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋（宅地）番号 ㉑
水栓 共用管 番号 ㉒ 12345		指定業者 ㉓ 上水道設備株
給水引込		主任技術者 ㉔ 上水道 太郎
縮尺 ㉕ 1:〇〇	図番 ㉖ 1/1	工事場所 ㉗ 和泉市〇〇町五丁目4番11号

主要使用材料		
名称 ㉘	寸法	数量
サドル分水栓(協会型ボール式)	φ75×φ20	2
ポリエチレン二層管(耐震強化型継手共)	φ20	9.0
ロングベンド90°	φ20	2
Oリング止水栓	φ20	2
止水栓ボックス	H=400	2
HIVP	φ20	1.0
HIVPエルボ	φ20	2
HIVPキャップ	φ20	2
メーター用ソケット	φ20	2
明示杭		2
明示ピン		2

(配水管分岐から第一止水栓まで)

- ㉑ 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉒ 縮尺を記入
- ㉓ 図面番号を記入(例：図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉔ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉕ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ㉖ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉗ 工事場所の地名地番を記入
- ㉘ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要。配管の名称及び数量は例の通り記入)
- ㉙ 平面図は主要な材料のみ記入し、ロングベンド90°などの継手等は記入しない

管の色分け	名称	色(線種)	凡例
	新設給水管	赤(実線)	———
	既設給水管	黒(実線)	———
	撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
	既設配水管	黒(破線)	- - - -
	貯水槽以下	緑	———



- ※ 記入漏れの多い項目
- ① 第一止水栓のオフセット
- ② 道路の記入(特に角地)
- ③ 配水本管の位置、管種管径
- ④ 給水の引込の場合は断面図

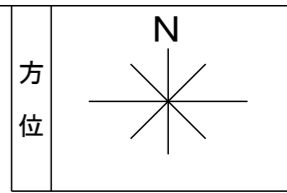
- ※ 止水栓ボックスの底板は、レンガ又はブロックを敷設すること。
- ※ 既設配水管が深い場合は、必要に応じて90°エルボ等の金属継手を使用し、立ち上げること。
- ※ 公道部分での給水管埋設深さは、管上で600mm(国道・府道は800mm)以上確保すること。ただし、道路管理者の指示がある場合は、それに従うこと。
- ※ ポリエチレン管に使用する金属継手はすべて耐震強化型(WSA B 011 適合品)とすること。
- ※ 引込管は本管及び接する道路に対して垂直に布設すること。
- ※ 第一止水栓からメーターまでの距離は1m以内にとすること。

一般用給水工事 <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号 ㉑
水栓 共用管番号 ㉒ 12345		指定業者 ㉓ 上水道設備㈱
給水引込 縮尺 ㉔ 1:〇〇 図番 ㉕ 1/1		主任技術者 ㉖ 上水道 太郎
		工事場所 ㉗ 和泉市〇〇町五丁目4番11号

管の色分け

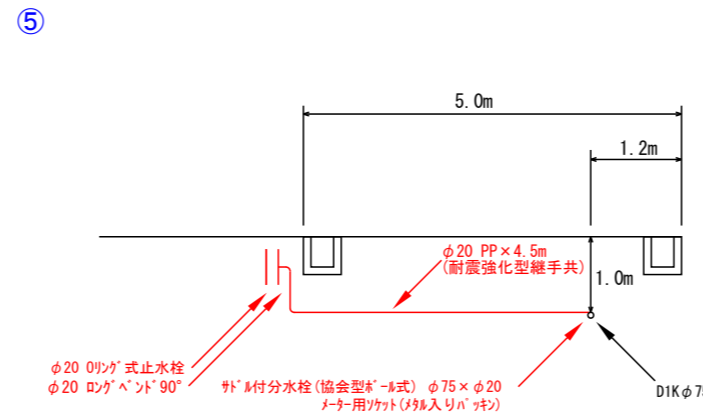
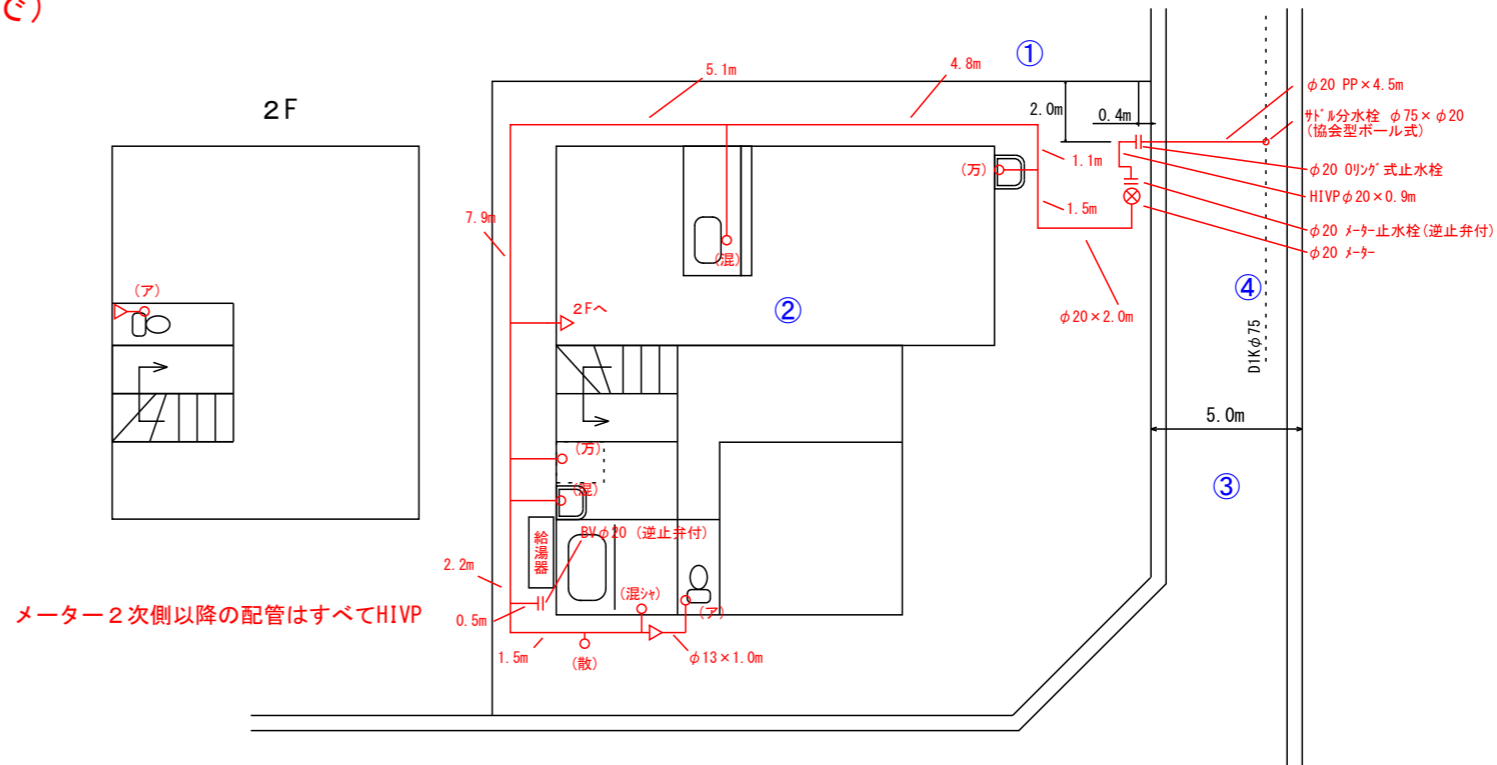
名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	———
既設給水管	黒(実線)	———
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	- - - -
貯水槽以下	緑	———



主要使用材料		
名称 ㉘	寸法	数量
サドル分水栓(協会型ボール式)	φ75×φ20	1
ポリエチレン二層管(耐震強化型継手共)	φ20	4.5
ロングバンド90°	φ20	1
Oリング止水栓	φ20	1
止水栓ボックス	H=400	1
HIVP(継手共)	φ20	一式
〃	φ13	一式
メーター用ソケット	φ20	1
メーターボックス	φ20	1
メーターボックス底板		1
メーター止水栓(逆止弁付)	φ20	1
メータージョイント	φ20	1
ライトエルボ	φ20	2
万能水栓	φ13	2
混合水栓	φ13	2
シャワー水栓	φ13	1
アングル型止水栓	φ13	2
BV(逆止弁付)	φ20	1
明示ピン		1

(配水管分岐から給水装置末端まで)

- ㉑ 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉒ 縮尺を記入
- ㉓ 図面番号を記入(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉔ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉕ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ㉖ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉗ 工事場所の地名地番を記入
- ㉘ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要(配管の名称及び数量は例の通り記入))

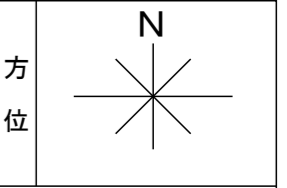


- ※ 記入漏れや間違いやすい項目
- ① 第一止水栓のオフセット
 - ② 間取り(文字)を記入しない
 - ③ 道路の記入(特に角地)
 - ④ 配水本管の位置、管種管径
 - ⑤ 給水の引込の場合は断面図記入
 - ⑥ 立面図は記入不要

- ※ 止水栓ボックスの底板は、レンガ又はブロックを敷設すること。
- ※ 既設配水管が深い場合は、必要に応じて90°エルボ等の金属継手を使用し、立ち上げること。
- ※ 公道部分での給水管埋設深さは、管上で600mm(国道・府道は800mm)以上確保すること。ただし、道路管理者の指示がある場合は、それに従うこと。
- ※ ポリエチレン管に使用する金属継手はすべて耐震強化型(WSA B 011 適合品)とすること。
- ※ 引込管は本管及び接する道路に対して垂直に布設すること。
- ※ 第一止水栓からメーターまでの距離は1m以内にとすること。

一般用給水工事（臨時用給水からの改造） <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号 ① ②
		指定業者 ③ 上水道設備(株)
		主任技術者 ④ 上水道 太郎
水栓 共用管 番号 ⑤ 12345 給水引込 ⑥ 縮尺 1:〇〇 ⑦ 図番 ⑧ 1/1	工事場所 ⑨ 和泉市〇〇町五丁目4番11号	

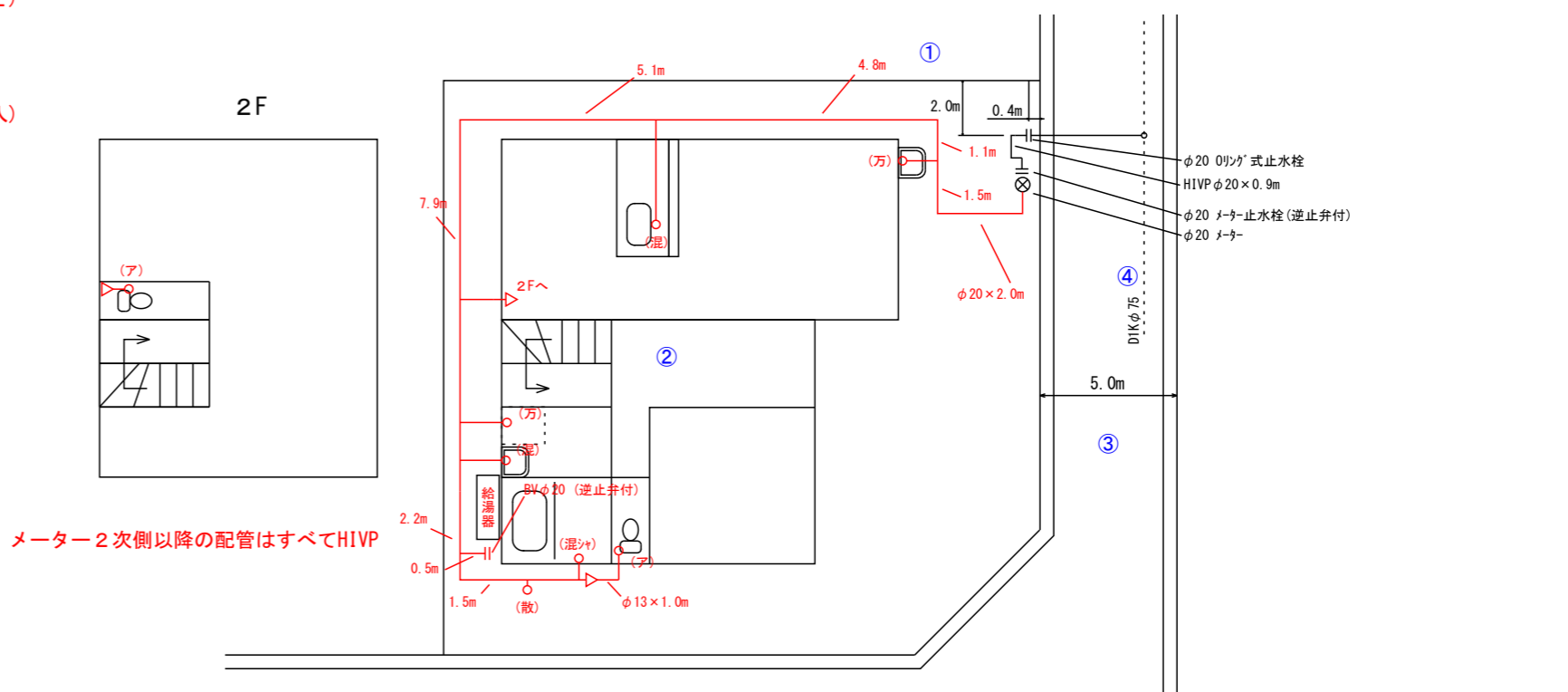


名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	———
既設給水管	黒(実線)	———
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	——— ////
既設配水管	黒(破線)	----
貯水槽以下	緑	———

主要使用材料		
名称 ⑩	寸法	数量
HIVP (継手共)	φ20	一式
"	φ13	一式
万能水栓	φ13	2
混合水栓	φ13	2
シャワー水栓	φ13	1
アングル型止水栓	φ13	2
BV (逆止弁付)	φ20	1

(メーター2次側から給水装置末端まで)

- ① 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ② 縮尺を記入
- ③ 図面番号を記入
(例：図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ④ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ⑤ 指定給水装置工事事業者名を記入
(代表者などは記入しないこと)
- ⑥ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ⑦ 工事場所の地名地番を記入
- ⑧ 使用材料を記入
メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要
配管の名称及び数量は例の通り記入



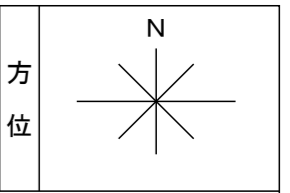
メーター2次側以降の配管はすべてHIVP

- ※ 記入漏れや間違いやすい項目
- ① 第一止水栓のオフセット
- ② 間取り(文字)を記入しない
- ③ 道路の記入(特に角地)
- ④ 配水本管の位置、管種管径
- ⑤ 立面図は記入不要

配水管等布設工事 <記入例>

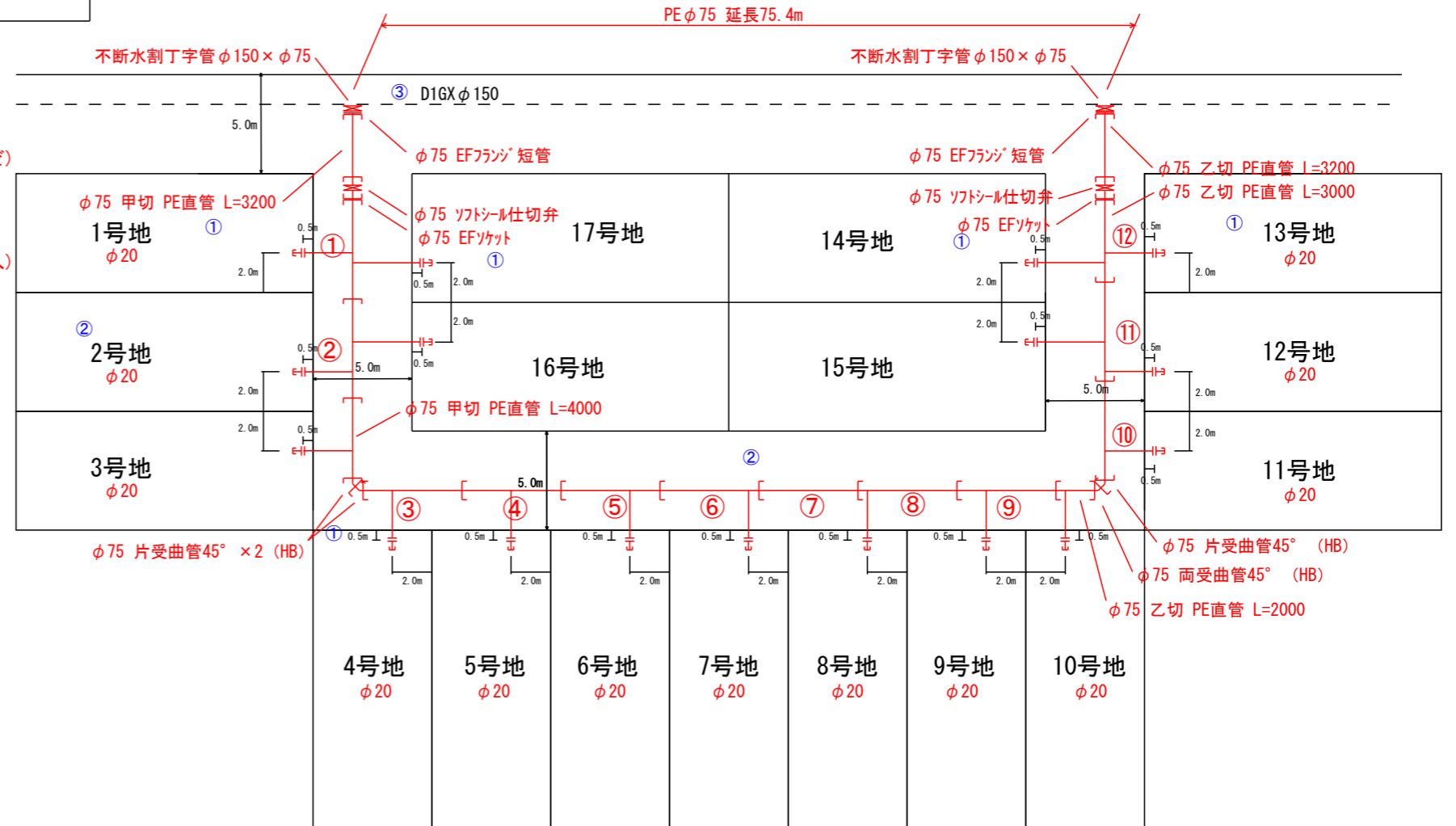
給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号 ㉑
水栓 共用管 番号 ㉒ 9999 給水引込		指定業者 ㉓ 上水道設備株
縮尺 ㉔ 1:〇〇 図番 ㉕ 1/1		主任技術者 ㉖ 上水道 太郎
		工事場所 ㉗ 和泉市〇〇町五丁目4番11号

名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	—————
既設給水管	黒(実線)	—————
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	///////
既設配水管	黒(破線)	- - - - -
貯水槽以下	緑	—————



主要使用材料		
名称 ㉘	寸法	数量
不断水割T字管	φ150×φ75	2
EFフランジ短管	φ75	2
水道配水用ポリエチレン管	φ75	75.4
ソフトシール仕切弁	φ75	2
EFソケット	φ20	2
片受曲管45°	φ20	3
両受曲管45°	φ20	1
仕切弁BOX	25型	2
サドル分水栓(協会型ボール式)	φ75×φ20	17
メーター用ソケット	φ20	17
ポリエチレン二層管(耐震強化型継手共)	φ20	40.0
ロングバンド90°	φ20	17
Oリング止水栓	φ20	17
止水栓ボックス	H=400	17
HIVP	φ20	17.0
HIVPエルボ	φ20	17
HIVPキャップ	φ20	17
明示杭		17
明示ピン		17
エコ埋設標示アルタンシート		75.4

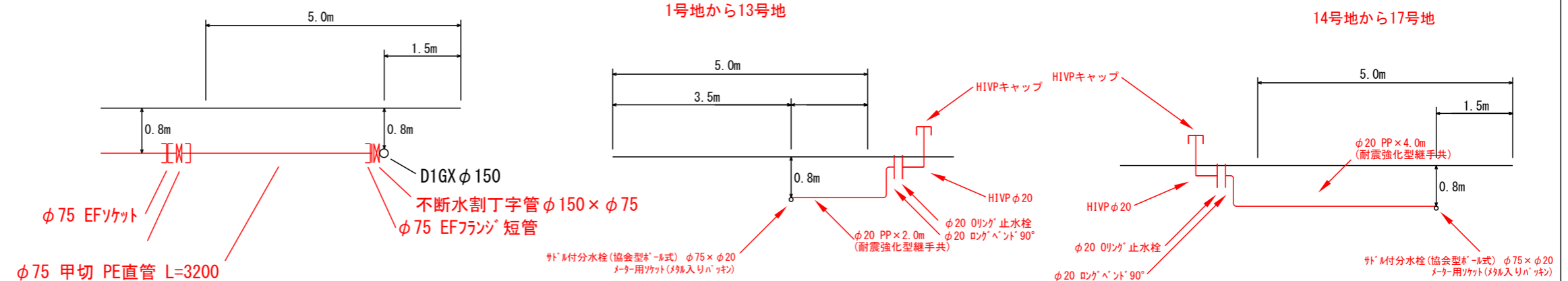
- ㉑ 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉒ 縮尺を記入
- ㉓ 図面番号を記入(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉔ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉕ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ㉖ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉗ 工事場所の地名地番を記入
- ㉘ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要、配管の名称及び数量は例の通り記入)
- ㉙ 平面図は主要な材料のみ記入し、ロングバンド90°などの継手等は記入しない



- ※ 記入漏れの多い項目
- ① 第一止水栓のオフセット
- ② 道路の記入(特に角地)
- ③ 配水本管の位置、管径
- ④ 給水の引込の場合は断面図

- ※ 止水栓ボックスの底板は、レンガ又はブロックを敷設すること。
- ※ 既設配水管が深い場合は、必要に応じて90°エルボ等の金属継手を使用し、立ち上げること。
- ※ 公道部分での給水管埋設深さは、管上で600mm(国道・府道は800mm)以上確保すること。ただし、道路管理者の指示がある場合は、それに従うこと。
- ※ ポリエチレン管に使用する金属継手はすべて耐震強化型(WSA B 011 適合品)とすること。
- ※ 引込管は本管及び接する道路に対して垂直に布設すること。
- ※ 布設延長を記入すること。(道路上の水道管に限る)
- ※ EF管を使用する場合は、受口を記入すること。

④

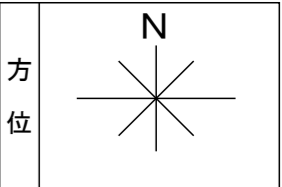


共同住宅等 共用管布設 <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)			部屋(宅地)番号 ① 共用管
水栓 共用管 番号 ② 1234 給水引込			指定業者 ③ 上水道設備株
縮尺 ④ 1:250 図番 ⑤ 1/3			主任技術者 ⑥ 上水道 太郎
			工事場所 ⑦ 和泉市〇〇町五丁目4番11号

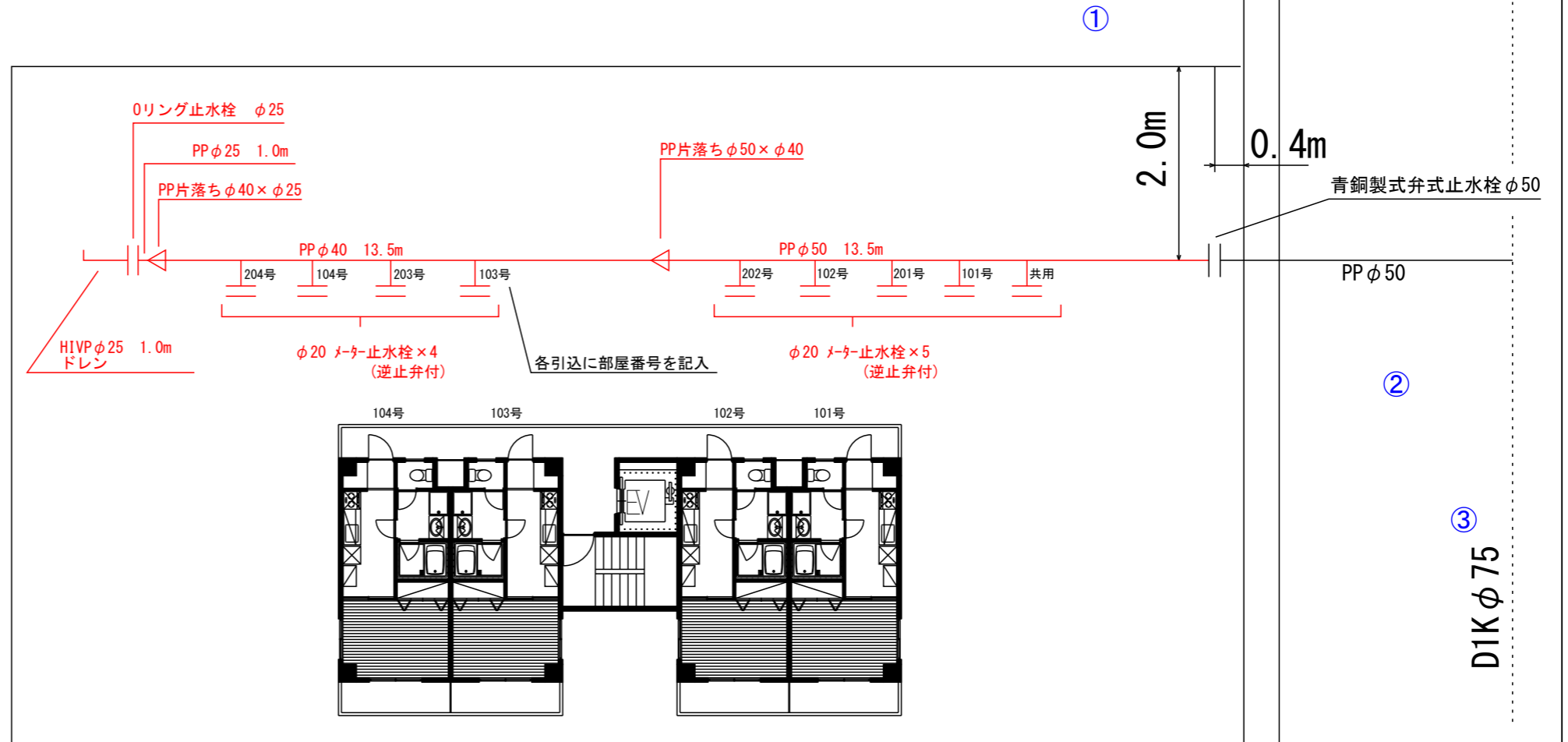
管の色分け

名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	—————
既設給水管	黒(実線)	—————
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	- - - - -
貯水槽以下	緑	—————



主要使用材料		
名称	寸法	数量
ポリエチレン二層管	φ50	13.5
ポリエチレン二層管	φ40	13.5
ポリエチレン二層管	φ25	1.0
ポリエチレン二層管	φ20	3
PPエルボ(耐震強化型)	φ50	2
PPチーズ(耐震強化型)	φ50×φ20	5
PPチーズ(耐震強化型)	φ40×φ20	4
PP片落ち(耐震強化型)	φ50×φ40	1
PP片落ち(耐震強化型)	φ40×φ25	1
Oリング止水栓	φ25	1
止水栓ボックス	H=400	1
HIVP	φ25	1.0
メーターボックス	φ20	9
メーターボックス底板		9
メーター止水栓(逆止弁付)	φ20	9
ロングバンド90°	φ20	9
ライトカバー	φ20	9

(第1止水栓から給水装置末端まで)



- ① 水栓番号、共用管番号、給水引込番号
がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ② 縮尺を記入
- ③ 図面番号を記入
(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ④ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号が
ある場合は記入
- ⑤ 指定給水装置工事事業者名を記入
(代表者などは記入しないこと)
- ⑥ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ⑦ 工事場所の地名地番を記入
- ⑧ 使用材料を記入
メーターより2次側の配管継手
(エルボやソケット)は記入不要
配管の名称及び数量は例の通り記入

※ 記入漏れや間違いやすい項目

- ① 第一止水栓のオフセット
- ② 道路の記入(特に角地)
- ③ 配水本管の位置、管種管径
- ④ 立面図は記入不要

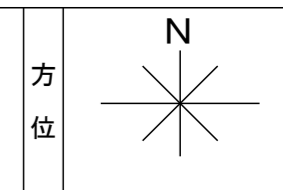
※ 共用管の埋設深さは、管上で300mm以上確保すること。

共同住宅等 共用管布設 <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号	④ 共用管
水栓 共用管 番号		指定業者	⑤ 上水道設備株
給水引込 番号		主任技術者	⑥ 上水道 太郎
縮尺	⑦ 1:250	工事場所	⑧ 和泉市〇〇町五丁目4番11号
図番	⑨ 1/3		

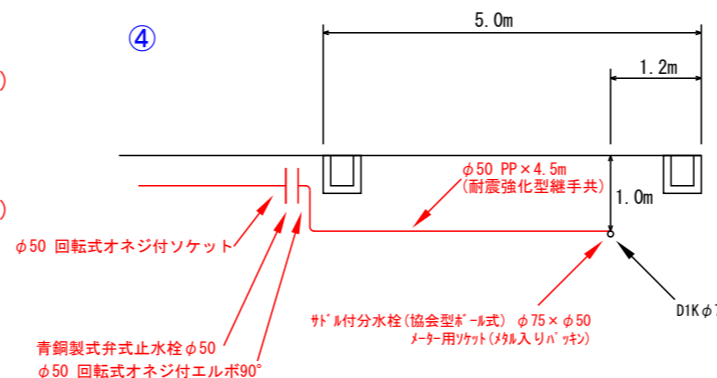
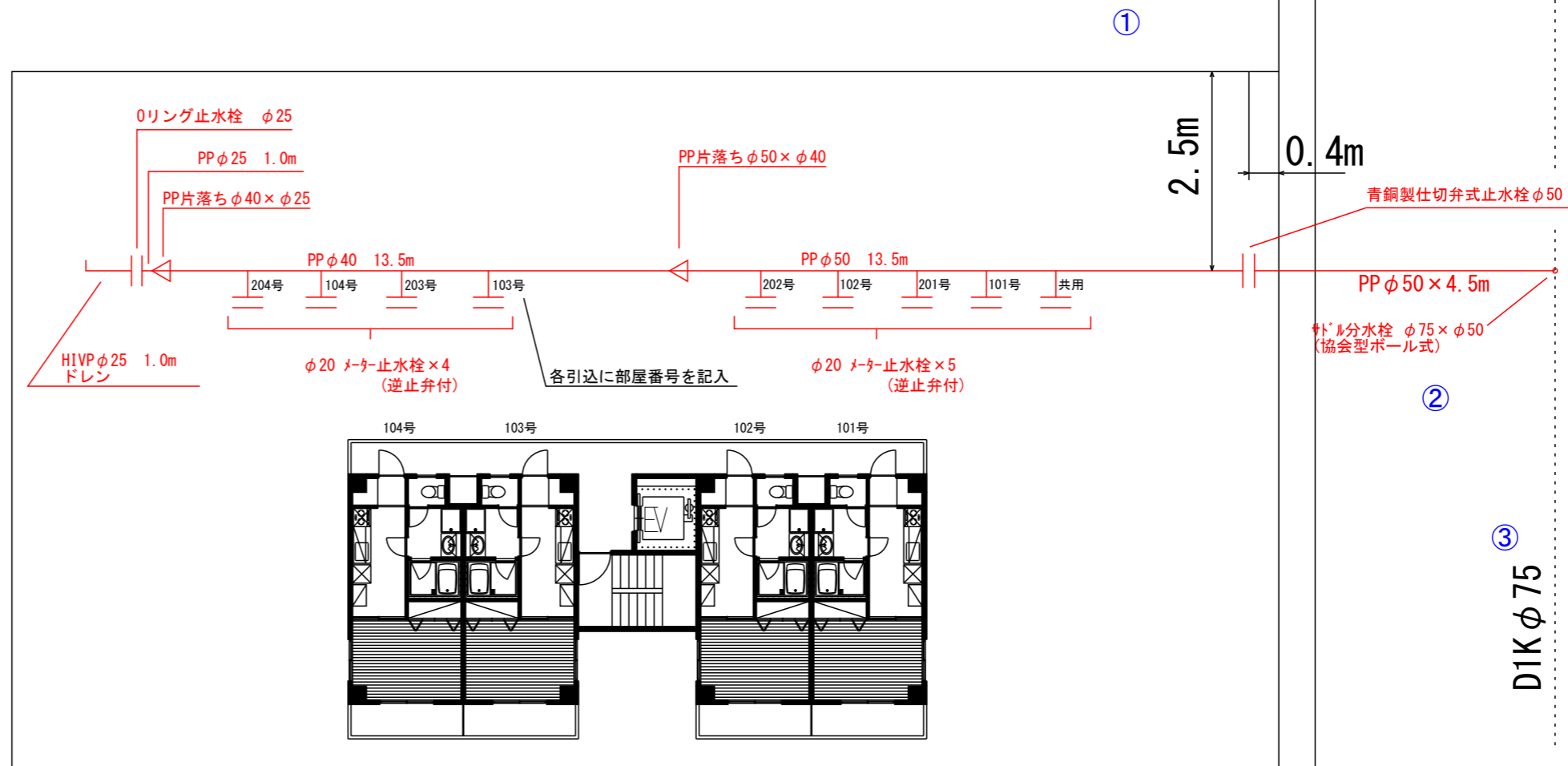
管の色分け

名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	———
既設給水管	黒(実線)	———
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	- - - -
貯水槽以下	緑	———



主要使用材料		
名称	寸法	数量
サドル分水栓(協会型ボール式)	φ75×φ50	1
回転式オネジ付エルボ90°	φ50	1
回転式オネジ付ソケット	φ50	1
青銅製仕切弁式止水栓	φ50	1
止水栓ボックス	H=600	1
メーター用ソケット	φ50	1
ポリエチレン二層管	φ50	18.0
ポリエチレン二層管	φ40	13.5
ポリエチレン二層管	φ25	1.0
ポリエチレン二層管	φ20	3
PPエルボ(耐震強化型)	φ50	2
PPチーズ(耐震強化型)	φ50×φ20	5
PPチーズ(耐震強化型)	φ40×φ20	4
PP片落ち(耐震強化型)	φ50×φ40	1
PP片落ち(耐震強化型)	φ40×φ25	1
Oリング止水栓	φ25	1
止水栓ボックス	H=400	1
HIVP	φ25	1.0
メーターボックス	φ20	9
メーターボックス底板		9
メーター止水栓(逆止弁付)	φ20	9
ロングベンド90°	φ20	9
ライトカバー	φ20	9

(配水管分岐から給水装置末端まで)



- ※ 記入漏れや間違いやすい項目
- ① 第一止水栓のオフセット
- ② 道路の記入(特に角地)
- ③ 配水本管の位置、管種管径
- ④ 立面図は記入不要

- ① 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ② 縮尺を記入
- ③ 図面番号を記入(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ④ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ⑤ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ⑥ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ⑦ 工事場所の地名地番を記入
- ⑧ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要。配管の名称及び数量は例の通り記入)

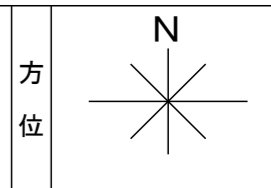
- ※ 止水栓ボックスの底板は、レンガ又はブロックを敷設すること。
- ※ 既設配水管が深い場合は、必要に応じて90°エルボ等の金属継手を使用し、立ち上げること。
- ※ 公道部分での給水管埋設深さは、管上で600mm(国道・府道は800mm)以上確保すること。ただし、道路管理者の指示がある場合は、それに従うこと。
- ※ ポリエチレン管に使用する金属継手はすべて耐震強化型(WSA B 011 適合品)とすること。
- ※ 引込管は本管及び接する道路に対して垂直に布設すること。
- ※ 共用管の埋設深さは、管上で300mm以上確保すること。

共同住宅等 共用管布設 <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号	㉒ 101号~104号、共用栓
水栓 共用管番号		指定業者	㉓ 上水道設備㈱
給水引込 番号		主任技術者	㉔ 上水道 太郎
縮尺		工事場所	㉕ 和泉市〇〇町五丁目4番11号
縮尺	1:250	図番	㉖ 2/3

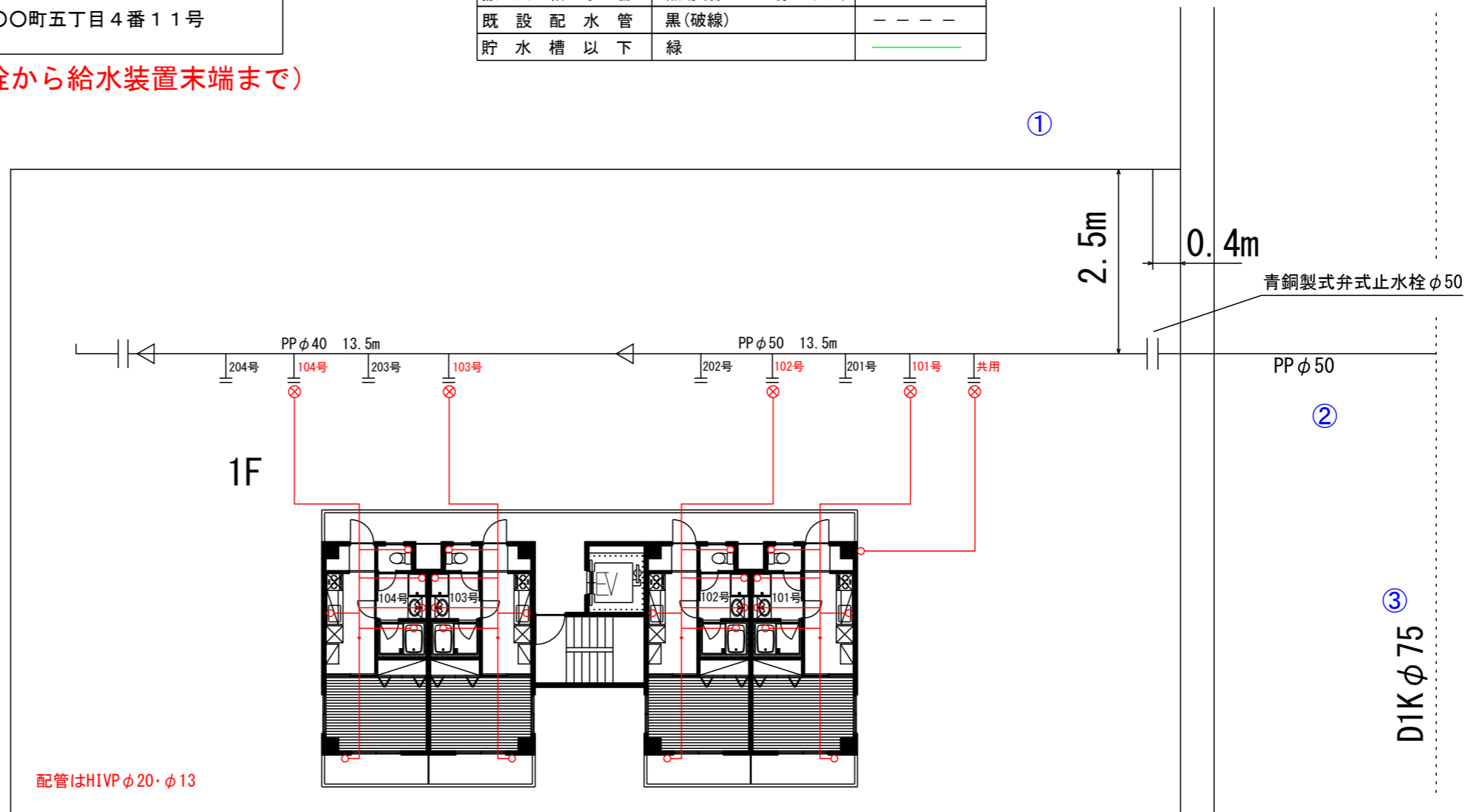
管の色分け

名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	—————
既設給水管	黒(実線)	—————
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	-----
貯水槽以下	緑	—————



主要使用材料		
名称	寸法	数量
HIVP(継手共)	φ20	一式
"	φ13	一式
コン柱	φ13×900	1
混合水栓	φ13	8
シャワー水栓	φ13	4
アングル型止水栓	φ13	4
ライトエルボ	φ20	4

(第1止水栓から給水装置末端まで)



- ㉖ 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉗ 縮尺を記入
- ㉘ 図面番号を記入(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉙ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉚ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ㉛ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉜ 工事場所の地名地番を記入
- ㉝ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要。配管の名称及び数量は例の通り記入)

- ※ 記入漏れや間違いやすい項目
- ① 第一止水栓のオフセット
- ② 道路の記入(特に角地)
- ③ 配水本管の位置、管種管径
- ④ 立面図は記入不要

※ 直結止水栓にプレート札を針金で付け、部屋番号等を示すこと。

